

小論文指導例

【添削依頼小論文】

私は将来、医者になりたいと考えています。幼い頃から病院での医療現場を見て、患者さんを助ける医師の姿に感銘を受けました。人の命を救う仕事に携わりたいという強い思いが、私の夢を支えています。医療の知識を深めるために、今は一生懸命勉強しています。

【高校時代の実践と関心】

高校時代はラズベリーパイでウェブサーバーを制作し IoT の勉強をしていました。

将来は生成 AI の研究をしたいと考えています。

アドビイラストレーターで T シャツのロゴデザインを行い、自分で昇華プリントで作品を作っています
朝日新聞の地方紙月刊ミニコミの挿絵の担当も 3 年間行いました

【ポイント解説】

将来の夢が明確である

「医者になりたい」という動機が冒頭に明記されており、読者に強い意志が伝わります。

実体験の具体性と多様性

IoT や生成 AI、デザイン、新聞挿絵など、多方面にわたる活動は興味深く、あなたの好奇心と実行力がよく表れています。

【課題点と改善の方向】

医師という職業との関連性が弱い IT やデザインが医療分野でどう役立つかを明示する

活動の羅列感がある「医療 × 技術」「医療 × 表現力」などテーマで整理

文章が単調で読みにくい 接続詞や因果関係を取り入れて、論理的な流れを強化

【小論文サンプル（約 400 字）】

私は貴学で医療とテクノロジーを結びつける学びを深めたいと考えています。幼い頃に医師に支えられた経験から、私も命を救う仕事に携わりたいと思うようになりました。高校では生物や化学を中心に学びながら、ラズベリーパイを用いた Web サーバー構築や IoT の実習を行い、技術と医療の融合の可能性を実感しました。また、生成 AI の研究にも興味を持ち、医療分野における活用を将来の目標としています。

さらに、創造的な活動にも取り組みました。アドビイラストレーターで T シャツのロゴデザインを行い、自ら昇華プリントを施すなど、課題を工夫して解決する力を養いました。また、朝日新聞の地方紙で挿絵を担当し、表現力と責任感を培いました。これらの経験を生かし、最先端の医療技術を学び、患者一人ひとりに寄り添える医師を目指します。